

TOC(制約条件の理論)による生産革新ワークショップ

ーDBR(ドラム・バッファ・ロープ)による利益最大化と生産リードタイム短縮ー

多くの企業では企業競争力の強化を目指し、生産分野においても様々な改善活動に取り組んでおられます。しかし、それらの大半は、要した時間、労力、資金に比して、大きな成果を実現できずにいます。日本総合研究所では、TOC(Theory Of Constraints; 制約条件の理論)に基づく生産革新によって、生産全体にわたる仕組みを再構築し、短期間で大幅な改善効果を実現することを支援して参りました。今回、パソコンを使用した仮想工場におけるシミュレーション演習(チームを編成して実施)などを通じて、生産分野の TOC ソリューションである DBR(Drum-Buffer-Rope; ドラム・バッファ・ロープ)の基本コンセプトをご理解いただくと共に、DBR を適用した場合の効果をご体験いただきます。

日 時: 2006 年 11 月 16 日(木)、17 日(金) 両日とも 9:30~17:30

場 所: 〒102-0082 東京都千代田区一番町 16 番 株式会社日本総合研究所 東京本社 会議室
(地下鉄半蔵門線 半蔵門駅下車 5 番出口より徒歩約 5 分)

講 師: 株式会社日本総合研究所 研究事業本部 上席主任研究員 久道雅基

参加費: 10,500 円(消費税、昼食代、資料代を含みます。)

対 象: 生産管掌役員、生産管理部門、生産技術部門、経営企画部門、情報システム部門などの方々

(参加者に特別のスキル・知識・資格は必要ありませんが、小説「ザ・ゴール」を事前にお読みいただくことをお奨めします。)

定 員: 30 名(同じ方が 2 日間を通じてご参加ください。なお、定員になり次第、申し込み受付を締め切らせていただきます。)

注 記: 当ワークショップにご参加いただく場合、ノートパソコンを会場にご持参いただくようお願いいたします。また、他の参加者の方々とチームで演習を行っていただく可能性がございますのであらかじめご了承ください。

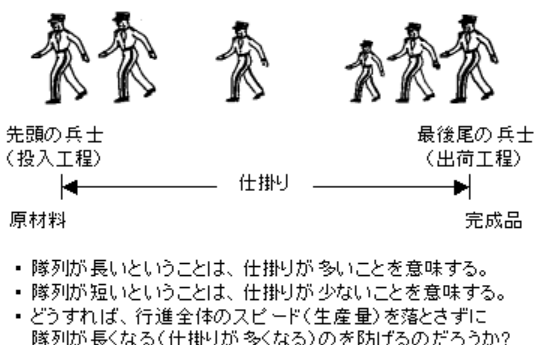
ワークショッププログラムの概要

1 日目(11/16)		2 日目(11/17)	
9:30~11:00	TOC 概論	9:30~12:00	DBR ワークショップ(解決編)
11:00~12:00	DBR ワークショップ(問題編)	12:00~13:00	昼 食
12:00~13:00	昼 食	13:00~16:00	DBR ワークショップ(解決編)
13:00~17:00	DBR ワークショップ(問題編)	16:00~17:00	DBR プロジェクト事例紹介
17:00~17:30	質疑応答、意見交換	17:00~17:30	質疑応答、意見交換

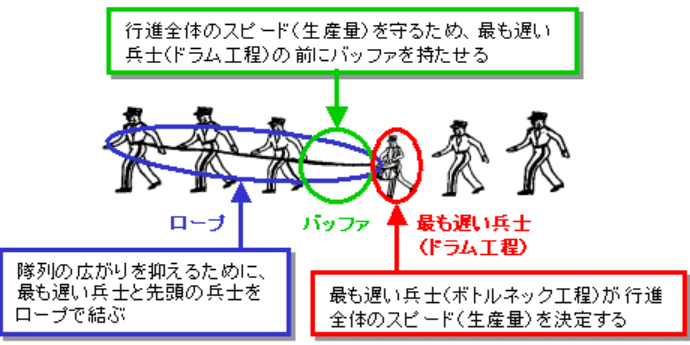
TOC(Theory of Constraints; 制約条件の理論)とは...

『ザ・ゴール』の著者であるエリヤフ・ゴールドラット博士により提唱された経営改善の哲学・方法論である。企業の活動全体を一つの大きな「システム」(仕組み)として捉え、企業の収益改善を妨げている本質的な制約条件を特定し、解消することにより、短期間で劇的な効果を実現することを可能とする。(参考: 弊社ホームページ <http://www.jri.co.jp/si/trend/04toc.html>)

生産を行進中の兵士の隊列にと考えると...



TOCによる生産革新(DBR:ドラム・バッファ・ロープ)



TOCによる生産革新実績例

- ・ 住野工業(自動車用小物プレス溶接部品製造)様: 自動車部品の量産事業の営業利益を大幅に拡大
- ・ グンゼの電子部品事業部(タッチパネル製造)様: 生産リードタイムを 5 分の 1 に短縮

なお、本ワークショップはゴールドラット博士が設立した AGI 社(Avraham Y. Goldratt Institute)のトレーニングプログラムを使用しております。